

2023年10月10日



報道関係者各位

海と日本プロジェクト in 愛知

県

『岡崎×札幌』同時プロギング

supported by AlpenGroup in あいちめし®を開催しました。

2023年9月30日（土） 【愛知県岡崎市乙川河川緑地】

一般社団法人海と日本プロジェクト in 愛知県は、2023年9月30日（土）に『岡崎×札幌』同時プロギング supported by AlpenGroup in あいちめし®を開催いたしました。今年度3回目の開催となるプロギングでは遠く離れた札幌と中継しながら、同時にプロギングを行い、「1,400kmを超えてつながろう！」をテーマに同じ思いを持った人同士が繋がり海洋ごみ問題の意識をさらに高めることができました。

このイベントは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催するものです。



イベント概要

- ・開催概要 : 約 2~2.5km をジョギングのペースで走りながらごみ拾いを実施
- ・日程 : 2023 年 9 月 30 日 (土) 9 時 00 分~11 時 00 分
- ・開催場所 : 愛知県岡崎市乙川河川緑地
- ・参加人数 : 一般参加者 55 名
- ・参加費 : 無料
- ・協力団体 : 一般社団法人プロギングジャパン、株式会社アルペン、八千代エンジニアリング株式会社

プロギング(PlockaUpp 拾う+Jogging 走る=Plogging)で街を綺麗に！

海洋ごみの 8 割は陸から海に流出していると言われており、海から離れた地域のごみ拾いをするのも実は、海を守る活動に繋がります。今回は、街中で行うプロギングが海を守る活動に繋がることを知ってもらうことも目的の一つとして開催されました。当日は参加者 58 名にお集まりいただき、岡崎城周辺をあいちめしやゲストのカラフルダイヤモンドにちなみ、岡崎場周辺にてひつまぶしコース(2.2km)、えびふりゃーコース(2.5km)、あまキュンコース(2.0km)の 3 コース に分かれて実施しました。

さらに今回のプロギングでは、岡崎と札幌と中継を実施しました。

2 会場で拾うごみの種類のお題を掲げ、ごみの種類をビンゴカードに見立て協力して埋めていく事を目標に実施しました。はじめに 2 会場で中継を繋ぎ、2 会場の参加者同士で意気込み、会場の様子を共有して各会場プロギングを開始しました。

ごみを拾ったら「ナイス!」「ありがとう!」と声を掛け合う内に、自然に打ち解けていき、楽しい雰囲気参加者同士の交流も深まっていました。また、この日は天候にも恵まれ参加者からは楽しいという感情が表情から溢れていました。

会場に戻ってきたタイミングで札幌会場と中継で繋ぎ、お互いの拾ったごみの種類をビンゴカードのお題に沿って、結果発表を行いました。2 会場の参加者の頑張りもあり見事にビンゴを達成することが出来ました。離れた地域で同じ目標に向かって開催していつも以上に盛り上がるプロギングとなりました。

中継の最後にお互いの地域の理解を深める為に岡崎と札幌の名産物のお土産を交換を実施しました。

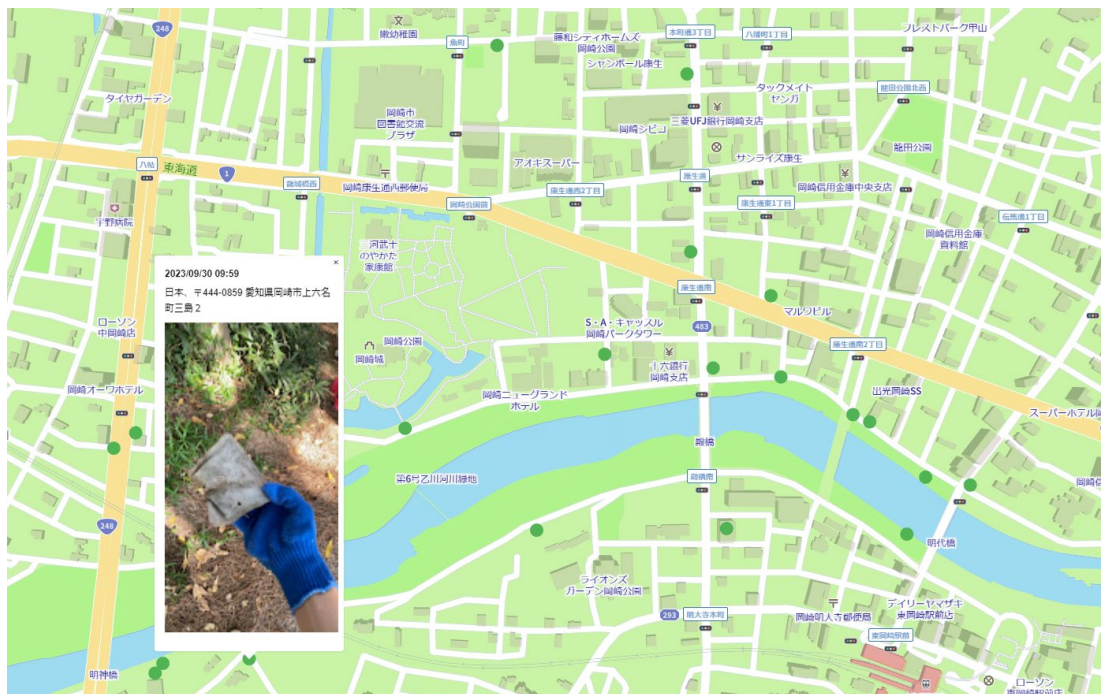
岡崎からは八丁味噌のどて煮いりの味噌おでん、札幌からは白い恋人を参加者に配布しました。

それぞれの地域の物が実際に手元に来るとより一体感が生まれ、受け取った参加者の皆様にも満足していただけました。



プロギングスポットをシェアするアプリ『PLOGGINGMAP』

PLOGGING MAP は、プロギングを活用して環境美化に取り組み、ごみのホットスポットやごみ箱の設置場所をみんなで共有することができます。情報を共有して改善方法を考えながら、プロギングを楽しむアプリになっています。また、昨今課題となっている環境問題を地域のみなさんと科学の力で解決を目指す、「シチズンサイエンス」を推進。みなさんが暮らす土地の自然環境を健やかで持続可能なものにするため、社会連携の貴重な情報源とすることを目指しています。今回はスタッフがプロギングをしながらごみのスポットを登録して、かなりのデータを収集することが出来ました。



川ごみの実態を把握、効果的な清掃活動を考える。

八千代エンジニアリング株式会社と共同で、川ごみモニタリングを実施するためのカメラと水位計を伊賀川の坂谷橋に設置し、画像解析手法「RIAD（リアド）」（※）を用いて、川に流れるごみの輸送量を計測しています。清掃活動の前後の状況を把握することで、効果測定を行うために、データを蓄積し、地域の清掃活動の適切なタイミングについても検討しております。

※RIAD（River Image Analysis for Debris transport）とは、東京理科大学 二瓶教授・愛媛大学大学院片岡准教授が開発した技術で、八千代エンジニアリング株式会社が製品化致しました。RIADでは、自然系ごみ、人工系ごみの面積輸送量の時間変化を把握することが出来ます。※RIAD 詳細はこちらをご覧ください。

海のごみ削減プロジェクト始動!!

川ごみ清掃活動による海洋へのごみ流出量の削減効果の定量的把握

清掃活動などを行っても、それがどのくらいの効果があったのかが現状でははっきりと分かりません。私たちは、効果が見えないと活動は継続しないと考えています。

そこで、川などの清掃活動の結果となる海洋ごみ削減量のモニタリングを行うことで、清掃活動の効果を明らかにし、清掃活動を今よりももっと活性化しようとするプロジェクトを開始しました。

海へ流れるごみを削減し、豊かな海を未来に残すことを目指しています。

イベント
(川イベントなど)

清掃活動
(地域で開催)

川ごみモニタリング

動画を撮影し、川から流出する自然・人工系ごみの輸送量を把握
 (RIAD: River Image Analysis for Debris transport)
 東京理科大学・二瓶教授、愛媛大学大学院・片岡准教授が開発したRIADを八千代エンジニアリングが製品化(2021年7月販売開始)

ビデオカメラで河川表面を撮影

ユーザー

動画アップロード

条件設定

動画 グラフ
解析結果の出力

従来の観測手法

直接サンプリング等
安全面、作業負担が課題

課題解決のための観測システム

1 河川水表面の動画撮影

「市販のデジタルカメラ等による河川水表面の動画撮影」

2 動画解析結果

「得られた動画データに対する画像解析に基づく川ごみ輸送量の計測」から構成される川ごみ輸送量観測

元画像

結果

赤:人工系
青:自然系
白:水面

Nov.2022 START

坂谷橋にて川ごみモニタリング開始

速報値 伊賀川 坂谷橋 モニタリング結果

API [mm]	人工系ごみ輸送量 (g/d)
0	3000
10	2500
20	1500
30	1000
40	800
50	600
60	500
70	400
80	300
90	200
100	100

- 人工系ごみ輸送量とAPI（先行降雨指標）を比較した結果、関係性が見られた。
- 降雨時の人工系ごみ輸送量は、事前の降雨の状況や晴天日数が多い程、大きい傾向が見られた。
- APIは日雨量から算定することが可能であり、日雨量が分かれば、人工系ごみ輸送量を把握することが可能となった。
- 仮に10月1日（明日）に雨が降った場合、伊賀川では1500gの人工系ごみが流れることを推定することが可能となった。

ごみの予報が可能! ?

- ・何度かプロギングに参加させてもらいましたが、今までで一番楽しかったです。
- ・岡崎は街がとてもきれいでごみがあまり落ちてなかった。
- ・岡崎場や乙川を眺めながら朝からごみを拾いながら歩いて気持ち良かったです。

<団体概要>

団体名称 : 海と日本プロジェクト in 愛知県
URL : https://tv-aichi.co.jp/aichi_uminohi/
活動内容 : 愛知県を対象地域とした海と日本プロジェクトを推進する。



CHANGE FOR THE BLUE

国民一人ひとりが海洋ごみの問題を自分ごと化し、“これ以上、海にごみを出さない”という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として 2018 年 11 月から推進しているプロジェクトです。

産官学民からなるステークホルダーと連携して海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信していきます。

<https://uminohi.jp/umigomi/>



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>